

2023年5月5日

各教会・伝道所御中

日本アライアンス教団
理事長 田中 忍
伝道部長 小柳 均



「ウクライナの救援活動への支援献金」の 送金のご報告と献金の継続のお知らせ

主の聖名を讃美いたします。教団伝道部の奉仕について、祈りをささげてくださり、ご理解とご協力をいただいていますことに、心から感謝いたします。

さて、昨年、「ウクライナの救援活動への支援献金」のお願いの文書（2022/4/4付）を、各教会・伝道所へ送付して以来、この呼びかけに、諸教会が愛と犠牲をもって応えてくださり、多くの献金がささげられましたことを、心から感謝し、主の聖名をあがめるものです。ささげられました献金は、昨年6/14付の文書に記載の通り、昨年6/30を第一次の締め切りとして、1,728,741円をAWF (Alliance World Fellowship) に送金しました（2022/7/28）。また、今年3/31を第二次の締め切りとして、518,100円を、同じくAWFに送金しました（2023/4/24）。ここに、感謝をもってご報告いたします。

また、理事会では、この献金は少なくとも1年間行うことを決めていましたが、今後の必要性について協議してきました。AWFのジュラ柳原理事長によりますと（2023/4/11のメール）、

ウクライナに関しては、支援の必要は続いています。

現在、献金は主に次の目的に使用されています。

- 1) ウクライナ・アライアンス教会の牧師への物質的及び霊的支援。
- 2) ウクライナ国内避難民への物質的及び霊的支援。
- 3) ポーランドに住む避難民への物質的及び霊的支援。このサポートは、地元の福音派教会と協力して行われています。

とのことです。理事会は、4/12に持ち回り理事会を開催し、この献金を更に1年間継続することを決定しました。即ち、2024/3/31まで、この献金を継続いたします。

引き続き、世界のアライアンスと連携し、ウクライナのアライアンス教団による救援活動に、祈りをもって支援していきたいと思えます。郵便振替の口座の用紙に、「ウクライナ」とご記入くださり、教団事務局にお送りくだされば幸いです。

なお、教団ホームページには、「AWF 祈りのリクエスト」として、ウクライナを含め、世界各地のアライアンス教会の現況や祈祷課題が、逐次、掲載されています。どうぞ、ご参照ください。

皆様のお祈りとご支援を、心から感謝いたします。

主にあつて。